

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道153号 <small>いなん</small> 伊南バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：長野県上伊那郡飯島町本郷 至：長野県駒ヶ根市赤穂	延長	9.2 km		
<b>事業概要</b> 一般国道153号伊南バイパスは、長野県上伊那郡飯島町本郷から長野県駒ヶ根市赤穂に至る延長9.2kmのバイパスであり、長野県からの権限代行を受け、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、救急医療活動の支援や生活環境の改善を目的に計画された道路です。 平成26年度迄に飯島町本郷から飯島町田切の3.2kmと駒ヶ根市赤穂市場割から駒ヶ根市赤穂の4.2kmについて暫定2車線開通済みであり、交通渋滞の緩和や生活環境の改善に寄与しました。 残る区間の並行する現道等には線形不良箇所、冬期路面凍結箇所が存在するなど多くの課題があり、引き続き事業を推進することで、線形不良箇所の回避等の効果を見込んでいます。					
H9年度事業化	H9年度都市計画決定 (H一年度変更)	H10年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	412億円	事業進捗率	79%	供用済延長	7.4km
計画交通量	14,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.1  (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 108/473億円 (事業費：96/432億円) (維持管理費：12/41億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 232/997億円 (走行時間短縮便益：174/935億円) (走行経費減少便益：55/58億円) (交通事故減少便益：2.6/4.2億円)	基準年 平成25年	
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=2.0~2.2(交通量±10%) 事業費：B/C=1.9~2.3(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.6~2.7(事業期間±20%) 【残事業】交通量：B/C=2.1~2.3(交通量±10%) 事業費：B/C=2.0~2.4(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.0~2.3(事業期間±20%)					
<b>事業の効果等</b> ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ②物流効率化の支援 ・現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する。 ③都市の再生 ・市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりと連携あり。 ④国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 ⑤個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援する。 ・主要な観光地(駒ヶ根高原等)へのアクセス向上が期待される。 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設(伊那中央病院)へのアクセス向上が見込まれる。					

